

稲枝北小学校 コミュニティ・スクール

学校教育目標 ふるさとに誇りをもち、未来にたくましく生きる子どもの育成



第2回学校運営協議会
11月14日(木) 14:00

いなむらのよさを語れる子
なかまを大切にする子
むちゅうで活動する子
らしさを発揮して自ら学ぶ子

稲枝北小学校は、コミュニティ・スクール3年目を迎えています。まちづくり協議会の方々を始め、日頃から多くの地域の方が子どもたちの学習に関わっておられます。

協議会では、学校からの説明を焦点化することで、「熟議」の時間を確保し、話し合いの充実につなげられました。地域での子どもたちの様子や地域の方々の思いなどを中心に話し合い、委員のみなさんで具体的な活動の方向性を定めることにつながりました。

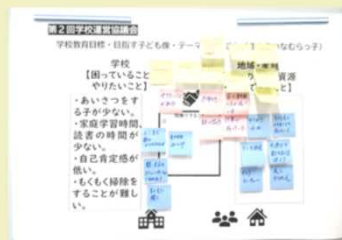
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて、学校と地域でよりよい活動を模索されているところです!!



進め方の工夫で、 「熟議」の時間を確保!!

「熟議」では、まず「10年後の稲枝北小学校の子どもたちはどんな姿になってほしいか」という未来(ゴール)をそれぞれが思い描き、付箋に記入しました。その後、二つのグループに分かれて話し合いを進めました。

学校からは子どもたちの課題が提示され、地域・家庭からは強みや協力できることが提示されました。そして、互いに協働できそうなことを話し合うことで、実現に向けて思いを共有しました。グループに分かれることで、一人ひとりの委員が自分事として考えや意見を述べることにつながりました。



地域・子ども同士のつながりについて

昔は地域でも子ども同士の関わりがありましたが、今は難しいですね。

コロナ禍もあり、地域での行事が減ってしまっています。地域ではなかなか子どもとつながる機会が少ないので残念です。一度なくなったものを復活させるのは難しいです。



以前、イベントを企画したことがありますが、なかなか子どもが集まってくれませんでした。習い事などで子どもは休みの日も忙しいようです。

地域で子どもが少ないので、たてわり活動の異学年の交流が大事になってきますね…。